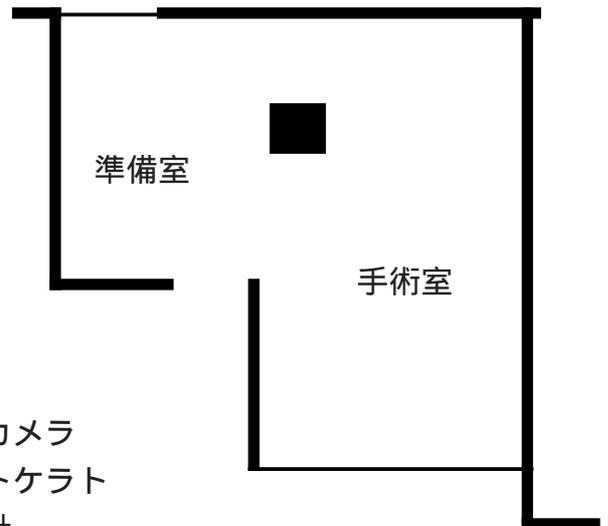


ハマダ眼科平面図

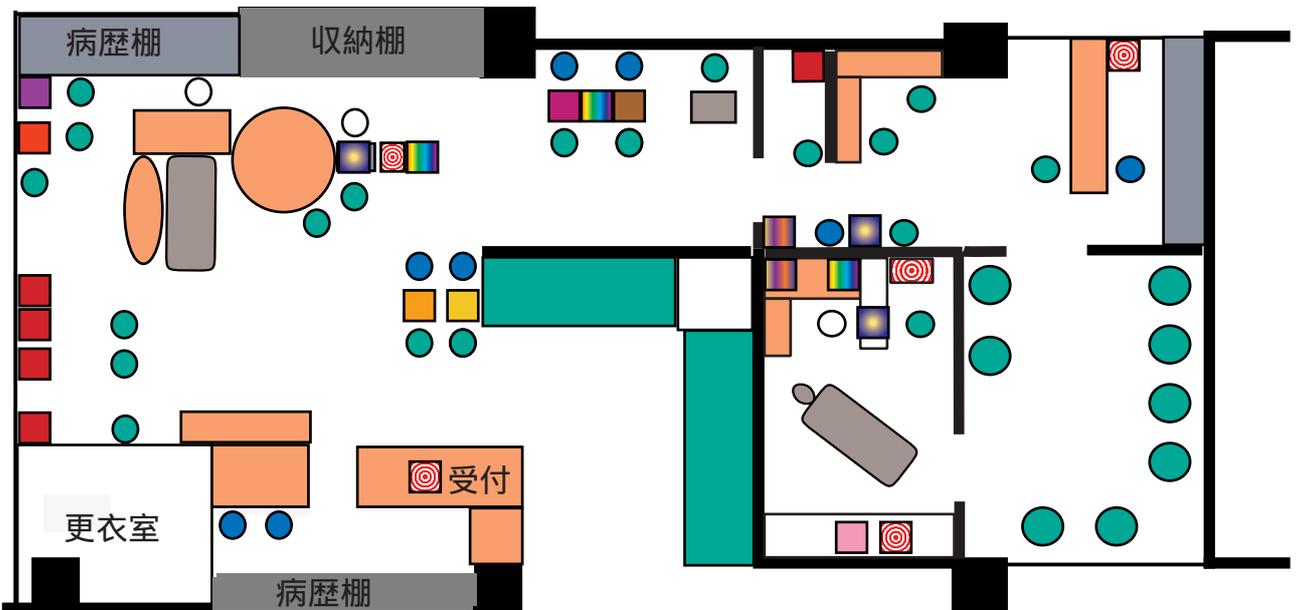
ハマダ眼科は延べ床面積60坪のさほど大きくない、何処にでも見られる大きさの眼科です。診療所の大きさは、必要十分に小さいほどいいというのが私の考えです。

診療所は、小さいほど管理が楽です。賃貸料が安くてすみ、施設の初期投資額、運転資金が少なくてすみます。初期投資額が少なくてすみというのは重要です。新築時と同じ状況に施設を維持管理していくためには、維持管理費に10年間で初期投資と同じ額がかかるとされているからです。掃除も隅々まで行き届きます。デッドスペースを作ることができないほどに狭いとデッドスペースがなくなります。すべての機器が死蔵されることなく使われます。死蔵状態になればその時点で診療所には置いておけなくなります。次に購入する機器が控えているからです。

初期投資、運転経費を押さえることにより、採算性が向上し、一人一人の患者さんに十分時間をかけた医療が提供できるようになります。患者さんにも、パラメディカルにも、医師にも肉体的にも、精神的にも、時間的にも、経済的にも負担をかけない医療の提供が可能になります。



- | | |
|--|--|
|  机 |  眼底カメラ |
|  モニター |  フォトケラト |
|  細隙灯顕微鏡 |  視野計 |



- | | | |
|--|---|--|
|  視力表 (スペースセービングチャート) |  患者さん用椅子 |  超音波診断装置 |
|  近点計 |  検査員用椅子 |  光凝固装置 |
|  ワック |  医師用椅子 |  画像ファイリングシステム |
|  オートレフ |  処置台 | |
|  眼圧計 | | |